

平成29年2月1日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議会報告委員会

委員長	吉成 伸一
副委員長	大野 恭男
副委員長	磯飛 清
副委員長	櫻田 貴久
委員	藤村由美子
委員	齊藤 誠之
委員	佐藤 一則
委員	眞壁 俊郎
委員	玉野 宏
委員	平山 啓子

第8回議会報告会（平成28年11月）報告書

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を別紙のとおり提出します。

第8回議会報告会（平成28年11月）報告書

○平成28年11月14日（月）

（1班）

開催日時	平成28年11月14日（月） 午後2時00分 ～ 午後4時00分			
開催場所	ハロープラザ			
参加人数	10人 （男性7人、女性3人）			
担当議員	班 長	大野 恭男	司 会	眞壁 俊郎
	報告者	松田 寛人、相馬 剛、星 宏子、齋藤 寿一		
	受 付	人見 菊一	写 真	金子 哲也
	記録者	佐藤 一則		
共通テーマ	自治会の未来を考える ～私たちの地域は私たちの手で～			
班 テーマ	箒根地区を元気にしよう ～何でも伺います～			

（2班）

開催日時	平成28年11月14日（月）午後6時00分～午後8時00分			
開催場所	大山公民館			
参加人数	16人（男性9人、女性7人）			
担当議員	班 長	磯飛 清	司 会	平山 啓子
	報告者	藤村 由美子、相馬 義一、植木 弘行		
	受 付	若松 東征	写 真	若松 東征
	記録者	高久 好一		
共通テーマ	自治会の未来を考える ～私たちの地域は私たちの手で～			
班 テーマ	地域住民たすけ合い事業			

（3班）

開催日時	平成28年11月14日（月）午後6時00分～午後8時00分			
開催場所	黒磯公民館			
参加人数	20人（男性14人、女性6人）			
担当議員	班 長	齊藤 誠之	司 会	吉成 伸一
	報告者	鈴木 紀、鈴木 伸彦、山本 はるひ、君島 一郎		
	記録者	玉野 宏		
	総 括	吉成 伸一（委員長）		
共通テーマ	自治会の未来を考える ～私たちの地域は私たちの手で～			
班 テーマ	黒磯地区のこれからを考えよう ～何でも伺います～			

○平成28年11月15日（火）

（1班）

開催日時	平成28年11月15日（火）午後4時00分～午後6時00分			
開催場所	東那須野公民館			
参加人数	17人（男性17人、女性0人）			
担当議員	班 長	大野 恭男	司 会	眞壁 俊郎
	報告者	松田 寛人、相馬 剛、星 宏子、齋藤 寿一		
	受 付	人見 菊一	写 真	金子 哲也
	記録者	佐藤 一則		
共通テーマ	自治会の未来を考える ～私たちの地域は私たちの手で～			
班 テーマ	東那須野地区発展について考えよう			

（2班）

開催日時	平成28年11月15日（火）午後2時00分～午後4時00分			
開催場所	とようら公民館			
参加人数	9人（男性6人、女性3人）			
担当議員	班 長	磯飛 清	司 会	平山 啓子
	報告者	藤村 由美子、相馬 義一、植木 弘行		
	受 付	若松 東征	写 真	若松 東征
	記録者	高久 好一		
共通テーマ	自治会の未来を考える ～私たちの地域は私たちの手で～			
班 テーマ	地域住民たすけ合い事業			

（3班）

開催日時	平成28年11月15日（火） 午後7時00分 ～ 午後9時00分			
開催場所	西公民館			
参加人数	22人 （男性16人、女性6人）			
担当議員	班 長	齊藤 誠之	司 会	吉成 伸一
	報告者	鈴木 紀、鈴木 伸彦、山本 はるひ、君島 一郎		
	記録者	玉野 宏		
	総 括	吉成 伸一（委員長）		
共通テーマ	自治会の未来を考える ～私たちの地域は私たちの手で～			
班 テーマ	西那須野地区のこれからを考えよう ～何でも伺います～			

主な意見・要望等

I. 共通テーマ意見・要望

1. 自治会加入に関すること

(メリット)

- ・加入していると色々な人と顔見知りになり、意見交換ができる。
- ・住んでいる人の顔が見えることは、地域の安全と防犯にとっても良い。

(デメリット)

- ・公共交通の不足が原因で、人口が流出し自治会加入者が減っているのではないか。
- ・団地は自治会加入者が少ないため負担が多い。
- ・自治会の目的がしっかりしていないから自治会離れしているのではないか。
- ・班長、自治会長をやりたくないので加入しないのではないか。
- ・加入していないと回覧板も回らないし、ゴミステーションも利用できない。
- ・アパートに住んでいると、いつまで住むか分からないので加入しない。
- ・加入していないと災害対応や防災対策が十分にできない。
- ・自治会の必要性を感じていない若い人が多い。

2. 自治会活動に関すること

(メリット)

- ・伝統芸能の行事が沢山あり絆が深まる。
- ・加入世帯の多い自治会ではピクニック感覚で若い家族が参加してくれる。工夫次第である。
- ・都会から転居してきた方は活動が多いと嫌がる人がいる。楽しいことをする必要がある。
- ・活動を活発にしていけることが必要である。
- ・みんなの意見で行事を行えば楽しい。

(デメリット)

- ・行事の参加が煩わしい。

3. 自治会役員に関すること

(メリット)

- ・自治会長については長く務めないとまとまらないと思う。
- ・若い人が役員になったときはベテランに支えてもらって欲しい。

(デメリット)

- ・高齢化のため役員のなり手がいない。
- ・加入しなければと思っているが、役員になるのが不安である。

4. 自治会費に関すること

(メリット)

- ・松浦町自治会は（防犯灯、消防費）で2, 0 0 0円を徴収アパート、マンションは不動産業者と契約をして徴収している。

(デメリット)

- ・若い世代にとっては自治会費が負担になっている。
- ・地区によって自治会費の違いは不公平感がある。

5. その他

- ・地域見守り隊や協力隊を作り、皆で支え合うシステムを作ってはどうか。
- ・自治会の定義が分からない。説明をしっかりと欲しい。
- ・地域のコミュニケーションのために必要。
- ・地域で出来ることは地域でやる。
- ・高齢化により班が成り立たなくなっている。対策を考えるべきではないか。
- ・自治会のチームワークが必要。

II. 各班テーマ意見・要望

1. 「箒根地区を元気にしよう ～何でも伺います～」について

- ・商店が少なく、買い物が不便である。
- ・公共交通の充実が必要である。
- ・若い人の就労場所が少ない。
- ・資源が豊富で歴史がある。
- ・自然が豊かで美しい。
- ・有数の水田地帯の米と塩原温泉の良質な泉質をアピールしてはどうか。
- ・花の里、ホテルの里を形成推進してはどうか。
- ・良質な牛乳の生産量が非常に高いのでアピールしてはどうか。
- ・定住促進のため農地付き宅地を造成計画してはどうか。
- ・小規模特認校について、統合するのかもしれないのか。
- ・金沢にはリンゴ園やキウイ園があるので、ふるさと納税の返礼品にしてはどうか。
- ・南公園にバーベキュー施設を作ってはどうか。
- ・もみじ谷大吊橋へのアクセスとして金沢側からの道路を整備して、交通渋滞を解消してはどうか。
- ・民泊計画や箒川沿いに遊歩道を整備してはどうか。
- ・フィルムコミッションを導入してはどうか。
- ・那須塩原市立地適正化計画で住宅街から離れた地域も見捨てないでほしい。
- ・市には城跡が8か所あり、黒磯地区に1か所、塩原地区に7か所あるので、その資源を活用してほしい。

2. 「東那須野地区発展について考えよう」について

- ・旧大原間小学校跡地の利用を考えてほしい。
- ・魅力ある企業を誘致してはどうか。
- ・那須塩原駅前の整備が必要ではないか。駅前開発が最優先。
- ・新幹線、在来線の駅やインターチェンジを有効活用してほしい。
- ・駅東口エレベーターの早期設置、商店街を市有地にして開発して欲しい。
- ・防災倉庫の無い地域が非常に多い。

3. 「地域住民たすけ合い事業」について

- ・元気な高齢者に支えてもらって進めたらどうか。
- ・自治会だと脱会した人や高齢で自治会に参加できない人は民生委員に協力をしてもらっている。
- ・波立地区では、自治会長と公民館長で研修をしたときに、民生委員しか知らない人もいて、普段から付き合いがないと限界がある。自治会に過度に期待すると自治会から漏れた人への対応がなくなる。この負担が民生委員に掛かってくる。全体で考えていく自覚が必要になってくる。

4. 「黒磯地区のこれからを考えよう ～何でも伺います～」について

- ・子供は地域の人と交流して育てる。
- ・子供と高齢者の交流を深める。
- ・地域の色々な特技の持ち主のリストがあれば交流しやすい。
- ・地域で子どもの出る機会を多くする必要がある。
- ・シルバー大学の卒業生の活用を図る。
- ・住むのにとても便利なところ。
- ・若い人がいなくて、一人暮らしの高齢者が多い。
- ・自主防災組織を作っても顔見知りでなければ全く機能しない。

5. 「西那須野地区のこれからを考えよう ～何でも伺います～」について

- ・若い人が帰ってくるまちづくりをして欲しい。(子育ての環境整備等)
- ・人を増やす施策にもっと力を入れて欲しい。
- ・安全で安心の街づくりを進めているが、声を上げることができない地区もある。
- ・国道について烏ヶ森公園のところは右折レーンを考えてもらいたい。
- ・空き家対策をしっかりとやって欲しい。
- ・子どもの貧困、若い人の働く場がない。
- ・企業誘致をしっかりとやって欲しい。
- ・若い人の活動を支援するようなことをして欲しい。

Ⅲ. その他意見・要望

1. 執行部に対する意見・要望

- ・行政からの仕事が多い。
- ・自治会により活動に差があり、自治会長連絡協議会等で勉強会を実施して欲しい。
- ・市が考えている自治会と現実の意識が違う。
- ・行政からメリットとデメリットをきちんと示して欲しい。
- ・行政はアンケート等、聞き取り調査を行うなど工夫する必要がある。
- ・市長と語り合う場所をもうけて欲しい。
- ・庁舎新築には必要最小限で無駄をなくして欲しい。
- ・高校生等と市長の懇談の場を。

2. 議会に対する意見・要望

- ・魅力ある議会にして欲しい。
- ・議会を傍聴したいのだが、日程にゆとりを持って広報して欲しい。
- ・市議選について自己評価をして欲しい。
- ・特別委員会の報告は重点項目にして欲しい。
- ・意見を聞くなりしっかりとフォローして欲しい。

3. アンケート自由記入欄の意見・要望

- ・初めて参加し大変勉強になった。
- ・特別委員会の報告について、パワーポイント等の資料が欲しかった。ワークショップは参考になった。
- ・議会は政策提言が重要。執行部に対し、長期ビジョンをしっかりと提言すべきである。
- ・報告会に参加する人が少ない。報告会よりも意見交換で議員と話ができるほうが意味があると思った。
- ・若い人が魅力を伝えられる街づくり、起業しようとする若い人を支援して欲しい。
- ・結婚適齢期の市民に対して、他市町とは違う優遇措置の検討。
- ・議会報告会は素人には理解しづらい。意見交換はテーマを絞って議論したほうが実のあるものになる。
- ・自治会活動のテーマであれば大勢の方が参加すると議論も深まる。少人数のユニットにして全15公民館区で開催できないか。市民協働のまちづくりを進めるにあたり、議会においても地域団体との協働の視点があると良い。各地区コミュニティに参加を呼び掛けると良い。議会だよりは全体として読みやすくなっている。定例会・審議内容・特別委員会の報告では議会だよりをテキスト的に活用してはどうか。自治会の未来を考えるにあたり、現状把握からはじめなければいけない。